

令和5年度 第3回経営協議会議事要録

日時：令和5年11月16日（木） 10：00～10：53

場所：オンライン会議（Teams）

出席者：太田学長、尾崎委員、川村委員、楠見委員、佐々木委員、杉田委員、種田委員、辻山委員、幅委員、睦好委員、久留主理事・副学長（総括理事・教育）、佐川理事・副学長（学術・企画・評価）、井上理事（総務・財務）・事務局長、鳥羽田理事（社会連携・基金運営）、菊池理事（ダイバーシティ・国際・SDGs）、原口人文社会科学部長、野崎教育学部長、岡田理学部長、乾工学部長、宮口農学部長

監事監査規則第9条第2項による出席者：人見監事、浅見監事

議題：

審議事項

- 1 国立大学法人茨城大学経営協議会規則の一部改正について
- 2 役員給与規程及び教職員賃金規程等の一部改正について
- 3 重要な財産の処分について

報告事項

無し

議 事 概 要

I 審議事項（○：経営協議会委員 ●：大学事務局等）

1 国立大学法人茨城大学経営協議会規則の一部改正について

太田学長から教員組織改革について概要の説明があり、改革に伴う、国立大学法人茨城大学経営協議会規則の一部改正について、資料1に基づき審議願いたい旨提案があった。次いで、理事・副学長（学術・企画・評価）から説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

2 役員給与規程及び教職員賃金規程等の一部改正について

太田学長から、役員給与規程及び教職員賃金規程等の一部改正について、資料2に基づき審議願いたい旨提案があった。次いで、人事労務課長から説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

【主な意見】

○支出見込みの人件費減少の要因として、「採用不調」とあるが、例年同じような状況があるのか。

●例年よりも多少多くなっている。また、採用不調に加えて、育児休業増加の影響もあり、退職や休業も多くなっている。

○育児休業の代替人員の補充については、必ずしもうまくいっていないのか。現場が厳しいのではないかと心配している。

●育児休業については、男性職員の取得が増える一方で、育児休業の期間が短いケースが増えたため、人員の補充がないケースもあり、難しい点もあるが、人事異動等で工夫しながら対応している。

3 重要な財産の処分について

太田学長から、重要な財産の処分について、資料3に基づき審議願いたい旨提案があった。次いで、財務課長から説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

【主な意見】

○モーターボートは何に使っていたのか。また、処分することで、新たに整備する必要はないのか。

●湖沼で動植物を調査する際などに、沿岸の調査に使用していたが、事故が発生したことを機に、今後は陸地側からの調査に限定し、沿岸調査は委託等により対応することとした。そのため、今後、使用予定がないことから処分したものであり、整備の予定もない。

II 報告事項

なし

III その他（○：経営協議会委員 ●：大学事務局等）

1 全体を通した経営協議会員からの意見

○国立大学の予算が厳しいことを今日も感じた。茨城大学だけの問題ではないと思うが、横の連携はどうなっているのか。

●国立大学協会の集まりでも、予算については常に大きな議題になっているが、運営費交付金の在り方や国の方針等の問題もあり、すぐには解決できない。

●資金運用の工夫や、他大学と連携しての資金獲得等、現在の枠組みの中で自助努力をしている。今後も、本学の強みを生かしながら、効果的かつ効率的に資金を獲得していきたい。

2 監事からの意見

・重要な財産の処分について、今回の船舶のように利用見込みのない財産が他にあれば、放置することなく速やかに処分する必要がある。老朽化して利用を中止している職員宿舎や土地等も他にあるので、民間資金の活用なども含めて、利活用や処分の推進に努めてほしい。

・教員組織改革については、研究力の向上、授業内容の充実と共に、持続可能な大学運営を可能とするよう進めていただきたい。

3 次回経営協議会開催日

太田学長から、今回は令和6年1月を予定しており、後日日程調整を行う旨、確認があった。